



1月は新年交流会や餅つき、ほうげんきょうなどでたくさんの地域の方々と交流し、お声を聞くことができました。



1/14 「学校の働き方改革について考える福岡県集会」に参加。街頭で教員不足の現状を訴えました。



1/16 建て替え中だった内野駐在所が完成。落成式に参加しました。



1/16 子育て支援・人育成調査特別委員会で福岡市西区の「子どもの村SOS JAPAN」を視察。



1/19 「まちづくりとEBPM」シンポジウムに登壇。「外国にルーツを持つ子どもへの教育支援の現状と課題」について報告しました。



1/30 昨年4月に制定された「福岡県手話言語条例」の制定記念講演に参加。保護者の方々と意見交換も行いました。



2/14 福岡県事業「福岡キャリアカフェ」の団体連携企画で「天神キャリア塾」にハネリスト参加。



2/24 「BREAKING WORLD MATCH2024」(主催:福岡県他)に参加。世界ランキング1位のShigekixさんと。

3/10 ハリテアカデミー主催「なぜ女性リーダーが必要か〜女性議員が語る地域の未来〜」シンポジウムにOGとしてハネリスト参加しました。



TV放映の様子はコチラ→私も取材を受けました!

ごとうかおり プロフィール

1979年 大分県日田市生まれ
1998年 大分県立日田高校 卒業
2002年 愛知教育大学 教育学部(総合理学科)卒業
2014年 ぶくおか女性いきいき塾 3期生
2019年 福岡県議会議員 初当選
2023年 福岡県議会議員 2期目当選
南庄在住、夫と子ども3人、義父母の7人家族
(趣味)カラオケ、マンガ、ヨガ、史跡めぐり
・「女性のための政治スクール」「ハリテアカデミー」修了

福岡県議会 民主県政クラブ県議団 所属
政策審議会事務局次長
女性活躍・ジェンダー委員長
●建設部委員会 副委員長
●子育て支援・人育成調査特別委員会 委員
●オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟 副会長
●福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 幹事
●アピスバ福岡を応援する会 理事
●福岡県住宅供給公社評議会委員
●福岡県交通対策協議会委員
・福岡県日中友好協会 副理事長
・西区野球連盟 顧問
他にも、子ども会、福岡西部子ども劇場など、地域の皆さまと共に活動中!

子育て世代・女性の声を届けるため日々奮闘中!

福岡県議会 民主県政クラブ県議団 会派控室 〒812-8574 福岡市博多区東公園7-7県議会内
TEL 092-643-3804 FAX 092-622-6203 立憲民主党



福岡県議会議員 (福岡市早良区) 後藤香織 県議会報告

後藤香織 県政事務所

〒814-0022 福岡市早良区原3丁目17-38 五十三萬石ビル 2F
TEL 092-832-6807 FAX 092-832-6808
E-mail rikken.gotokaori@gmail.com



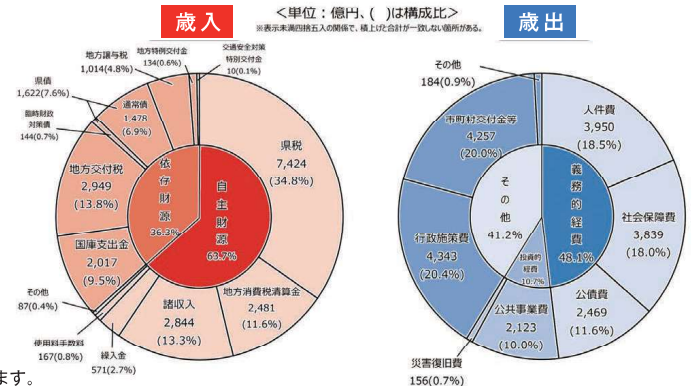
福岡県議会 2月定例会報告

2024年2月定例会は、2月22日から3月22日までの30日間の会期で開催されました。
定例会開会日に知事から、令和6年度予算議案20件、令和5年度補正予算議案1件、条例議案29件など、計71議案が提案され、3月1日に令和5年度補正予算議案等21議案が追加提案されました。代表質問、一般質問、各常任委員会を経て、3月8日の本会議で23議案が早期議決により可決されました。その後、予算特別委員会での予算案審査、常任委員会での条例等の審査を経て、定例会最終日の本会議にて、全ての議案が可決されました。

※早良区に関する予算は次号お知らせします。

令和6年度一般会計当初予算

総額 2兆1,321億円



2024年度予算が可決! その一部をご紹介します

福祉・子育て女性
○産後ケア利用者負担を軽減する県独自の補助制度を創設
約1億2,000万円
○児童虐待から子どもを守る体制を構築
約6,027万円
○困難な問題を抱える女性への支援を強化
約5,187万円
○障がいのある人の就労を促進
約5,472万円
○地域猫活動を支援
約1,695万円
○若年・子育て世帯への中古住宅取得支援の強化
5,423万円

教育・子ども
○全国初、「学びの多様化学校」を県立高校に設置のための調査費
約1,225万円
○県内全域で博多青松高校の通信制課程を履修できる環境を整備
約5,398万円
博多青松高校の通信制課程の対面授業を協力校3校(ひびき高校、大牟田北高校、西田川高校)で実施
○子どもの意見を反映した「こども計画」を策定
約2,446万円

経済・労働
○「物流の2024年問題」に対応するトラック運送事業者を支援 [2月補正]
約6億233万円
○働く場における女性の活躍を推進
約7,777万円
○福岡・地域別の戦略的なインバウンド誘客の実施
約1億495万円
○「FUKUOKA IS OPENセンター(仮称)」を開設し、海外人材の相談体制を強化
約7,422万円

防災・安全
○福岡西方沖地震から20年、地震対策、災害対応力を強化
約1億1,771万円
○南海トラフ地震及び日向峠-小笠木峠断層含む新たな主要活断層の被害想定を調査
○福岡市・北九州市へのアクセス向上を図る道路網を整備
約90億2,086万円
○渡辺通ゴールド免許センターを移転・拡大
約3,836万円

2024.3.5 一般質問しました!

多文化共生社会実現のための対応について

後藤

小中学校における、日本語指導が必要な児童生徒は、10年間で1.8倍に増加。本県でも、増加傾向にあり、その国籍や母語も今後ますます多様化していくことが想定される。

現在、小中学校においては、国の示す日本語指導が必要な児童生徒18人につき1人の割合で段階的に教員の基礎定数化が進められているが、全く日本語がわからない状態で転入してくる児童生徒もおり、先生方もその対応に苦慮しているとの声を聞いた。日本語指導が必要な児童生徒への更なる細やかな支援のための今後の取組は?

教育長

日本語指導のための教員配置のほか、「日本語指導担当教員等指導力向上研修」では、学生ボランティアの活用や翻訳機能を備えた端末貸与等を実施している市町村の実施例を取り上げた。その他、カリキュラム編成や指導方針等について、日本語指導に関する実践研修を行い、個別記録シートの活用や教材の工夫など、研究の成果をリーフレットにまとめて周知を行った。また、多様な国籍や母語を持つ児童生徒の受入れにあたっては、NPOなどの支援団体との連携や地域ボランティアの活用も有効であり、こうした事例についても、今後研修を通して周知してまいります。

2023年、国は、技能実習制度を廃止し、新たな「育成就労」制度を創設する方針を示しました。

また、特定技能2号の受入れ分野が拡大しました。この規制緩和により、特定技能1号の方々に対しても特定技能2号への道が開かれました。これにより家族帯同も可能となることから、今後は、より多くの外国人労働者と関連する方が増加すると見込まれます。

しかしながら、いくら外国人が増えても、福岡県において、その方々を受け入れる適切な環境が整っていないければ、これまでのように帰国や失踪、ひいては犯罪に手を染めるきっかけともなります。この観点から

●県が来年度開設する予定の、労働局、入管、JETROなどが一体となったワンストップ相談センター「FUKUOKA IS OPENセンター」について、在住外国人の就労・生活相談を充実させるための取組

●国家資格「登録日本語教員」創設に伴い、不足する日本語教師を増やす対策

●学校における外国人児童生徒への支援の充実の大きく3テーマについて質問しました。

今後も、急増する外国人材に対応する多文化共生社会実現のための取組を前進させ、環境づくりに尽力してまいります。

県立図書館の充実について

後藤

図書館は、地域住民の要求に応じて、情報提供のためのサービスを行う施設であり、地域の情報拠点として、また文化的にも、非常に重要な役割を果たしている。特に、県立図書館には、福岡県150年の歴史に係る図書資料が多くあり、後世に繋ぐ貴重な資料が集積されている。利用者・登録者増に向け、利便性の向上が必要だと思うが、今後、どのような取組をおこなっていくのか。

教育長

今月からスマートフォンひとつで利用者登録などが手軽にできるよう改善を図った。今後、団体貸出といった新たなサービスについても検討するなど、利便性の向上に努める。

後藤

現在、全国的にも、図書館の収蔵能力が足りないことが注目されている。蔵書数は全国35位の約85万6千冊だが、収蔵能力を保つには、書架を増設し収蔵能力をあげるか、または、除籍等の処分等を行うことが必要となる。図書資料の収蔵能力について、現在何%を使用しているのか、今後どのように収蔵能力を保つつもりか。

教育長

現在、収蔵できるスペースの約94%を使用しているが、昨年度は、購入等により約1万5,000点を受け入れ、国立国会図書館においてデジタル化されているものなど、約2万5,000点を廃棄したところであり、当面、収蔵能力を超えない見込み。今後とも、資料のデジタル化や市町村立図書館との分担保存などを進めることで、現在の収蔵スペースを維持しつつ、図書資料の質を確保してまいります。

他にも、子ども図書館、マルチメディアデイズをはじめとする各種バリアフリー図書の情報環境の改善と資料の量的拡充についても聞きました。県立図書館のふくおか資料室もとても興味深く、ぜひ、皆さまにも利用していただきたいです。

■福岡県立図書館

ホームページから利用登録できるようになりました! <https://www2.lib.pref.fukuoka.jp>



質問内容の詳細については、後藤香織オフィシャルホームページ、または福岡県議会ホームページにて動画、検索ができますので、ぜひご覧ください。



福岡県性暴力根絶条例が改正・盗撮への対策が強化

会派の代表質問から対策強化が実現!

昨年7月施行の国の刑法改正では、「撮影罪」が新設され、盗撮行為が全国一律で厳罰をもって規制されるようになりましたが、衣類を着た状態で撮影は該当しない、とされました。

アスリートへの盗撮は、ユニフォーム・水着などの上から一部分を意図的に撮影されるだけでなく、その画像がネット上にさらされる2次被害も起きていました。

今回の改正案では、国の刑法改正の内容を反映させた条例の改正のみならず、学校やスポーツ施設、公共交通機関など、不特定多数が、利用する場所で性的な意図をもって、同意を得ることなく、人の姿態または部位を撮影する行為を、着衣の有無に関わらず性暴力としました。

これにより、アスリートへの盗撮防止等についても県内全域で対策が取られるようになります。

アスリート盗撮への対応は全国初の取組です。



保育士の配置基準 76年ぶりの改善へ!

●2019年9月 一般質問
●2021年2月 予算特別委員会
●質問・要望し、実現!

日本の保育士配置基準は世界的にも低く、また、保育士配置基準は、保育所に求められる最低基準ですが、最低基準でしか配置しない保育所も。一人ひとりの子どもの発育に応じた保育の質を担保するためにも、保育士の処遇改善のためにも、保育士配置基準の見直しを要望していました。

私は、子ども3人ともそれぞれ約6年間、保育園にお世話になりました。

これからも、子どもたち、子育て世代の応援団である保育士の皆さんの処遇改善に取り組みます。

保育士の配置基準

年齢	保育士1人に対する子どもの数
0歳児	3人
1・2歳児	6人
3歳児(年少)	20人
4・5歳児(年中・年長)	30人

76年ぶりに見直しが決定

3歳児 15人

4・5歳児 25人

配置基準見直しにより、増加する保育士の分の

国 保育士人件費を予算計上

県 短時間保育士の人件費を予算計上

産後ケアがうけやすくなります!

2022年9月決算特別委員会
質問・要望し、実現!

福岡県は「出産子育て安心基金」を活用して、産後ケア利用者負担を軽減する県独自の補助制度を創設

①利用者負担軽減(政令市含む60市町村)

国の利用料減免制度活用後、同額(最大1,250円)を支援

②産後ケア事業運営費補助(政令市含む60市町村)

事業運営に係る市町村負担額を補助し、本来の利用者負担の1/2以下にする 補助率1/2

これにより福岡市でも2024年4月から利用料がさらに軽減されます

福岡市の産後ケア事業	これまで	2024年4月から
宿泊型(ショートステイ)	1日 6,000円	1日 3,000円
日帰り型(デイケア)	1日 4,000円	1日 2,000円
訪問型(アウトリーチ)	1日 2,000円	1日 500円

利用方法など、詳細は、

福岡市のホームページをご確認ください。➡



福岡市子ども未来局子ども健やか部子ども健やか課 電話番号: 092-711-4065

「日向峠-小笠木峠断層」の地震被害想定調査へ

2023年6月一般質問
質問・要望し、実現!

福岡県は、地域防災計画の地震による被害想定を作るための根拠として、これまでに、3度「地震に関する防災アセスメント調査」を実施しています。

県が行った最新の2011年の「地震に関する防災アセスメント調査」では、早良区南部に位置する日向峠-小笠木峠断層はアセスメントが行われませんでした。

能登半島地震を受け、県は新たに、南海トラフ地震、福智山断層帯、宇美断層、日向峠-小笠木峠断層帯について、アセスメント調査を実施します。

この結果を、県の地域防災計画に反映させ、住民の皆さまにもお知らせする予定です。今後も、防災の観点からも皆さまの命を守るため、取り組んでいきます。